

レクシスネクシス後援

「グローバル訴訟を有利に進める為の文書管理」セミナー

eDiscovery Seminar Vol. 5

日程: 2010年10月27日 (水)
時間: 13:20~16:20(13:00受付開始)
会場: 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル 10階 コンファレンススクエアM+グランド
<http://www.marunouchi-hc.jp/emplus/access/index.html>

主催: 株式会社 Ji2
対象: 法務・知財 関係者
参加費: 無料(事前登録が必要となります)
定員: 60名(事前登録制:定員となり次第、受付を終了させていただきます)
その他: カメラ/ビデオ/ICレコーダーなど録音・録画できる記録機器の持ち込みはご遠慮下さい
競合する企業様やセミナー対象としていない方のご参加はお断りする場合がございます

概要:

2008 年秋口に米国で端を発した世界的な不景気の出口がまだ見えない昨今、その影響が他国より少ない日本企業は訴訟相手として格好の標的となっています。それに伴い米国にやや後れを取る日本の E ディスカバリー市場も、2009 年が 69 億円、2010 年が 133 億円 (前年比成長率 91.0%増)、2014 年には 484 億円まで拡大すると予測されています。
(IDC Japan : 2010 年 国内コンプライアンス市場 コンプライアンス基盤と e ディスカバリーの動向)

米国政府の調査の対象になるケースも増加傾向にあり、日本企業はこれら国際的な訴訟や調査に加え、日本国内での訴訟はもちろん、不正調査や内部監査等でも社内情報の開示を要求される場面が増えてきています。

ディスカバリーにおける社内データの取り扱いは大変煩雑で、コスト・時間・リスクが付き物です。改ざんや削除が容易に行える社内情報を適切に取り扱うためには日ごろの文書管理への取り組み重要になってきます。

今回のセミナーでは、法務・知財関係者が平時(Peace time)より実践できる文書管理とそのソリューションについて議論して参ります。

【お申込み】 <http://www.ji2.co.jp/documents/application/eDiscoveryOct27Application.pdf>

プログラムスケジュール

| | |
|---------------|--|
| 13:00 - 13:20 | 開場・受付 |
| 13:20 - 13:35 | 開催のご挨拶 (15分) |
| 13:35 - 14:35 | 「グローバル訴訟を有利に進める為 平時に行う文書管理」(45分) フィネガン・ヘンダーソン・ファラボー・ギャレット & ダナー 外国法事務弁護士事務所 パートナー弁護士 吉田 直樹 氏 |
| 14:35 - 15:00 | Q&A セッション (25分) |
| 15:00 - 15:10 | 休憩(10分) |
| 15:10 - 15:40 | 「情報ガバナンスを支える IBM 文書管理基盤」(30分) 日本 IBM 株式会社 ソフトウェア事業 エンタープライズ・コンテンツ管理 クライアント・テクニカル・プロフェッショナル 水越 将巳 氏 |
| 15:40 - 16:20 | 「法務と IT 部が気を付けるべき文書管理の落とし穴」(30分) 株式会社 Ji2 営業本部 ソリューションセールス 中島 大輔 |
| 16:20 - 16:40 | Q&A セッション (20分) |
| 16:40 - 16:55 | お名刺交換会(15分) |